

学校だより

令和5年12月11日

笑顔あふれる富田中学校

いよいよ本格的な冬の到来です。コロナやインフルエンザの流行も心配ですが、子どもたちには十分に健康に気を付けてほしいと思います。まもなく冬休みです。この間にクリスマス、除夜の鐘、初詣など様々な行事があります。「ゆく年くる年」と聞くと、1年が終わり新しい1年が始まるという実感がわいてきます。

さて、年末になると大掃除をしたり、しめ縄を新しくしたり、門松を飾ったりします。そして、すべてが終わったら鏡餅を飾ります。12月31日の大みそかには、除夜の鐘が鳴ります。「除」には、古いものを捨て新しいものに移るという意味があり、心穏やかに新年を迎えようという願いが込められているそうです。除夜の鐘は、一般的には煩惱の数から108回つくそうですが、理由は諸説あるようです。年始になると正月三が日は、近くの神社やお寺に初詣に行ったり、1月7日は七草がゆを食べたりします。1月11日は鏡開きで、鏡餅を食べる事で無病息災を願います。

子どもたちには、年末年始に日本の文化や風習を知るとともに、家のお手伝いも進んで行ってほしいと思います。また、「1年の計は元旦にあり」という言葉通り、子どもたちが1年の目標をしっかりと立て、新しい年が明るく輝くものになることを願っています。

人権学習 & なごやINGキャンペーン

毎年12月4日～10日は人権週間です。それに向け11月6日(月)～12月8日(金)に、「なごやING（いじめのない学校づくり）キャンペーン」を実施しました。悩んでいる人や困っている人に、自分ができることを一人一人しゃぼん玉シールに書いてポスターにし、廊下に掲示しました。また、各学級で作成したING川柳を校内に掲示し、いじめのない温かい学校の雰囲気づくりを進めています。来校の際は是非ご覧いただき、ご家庭でも様々お話をしていただけると幸いです。



また、12月4日(月)に人権集会を実施しました。有名な童謡詩人である金子みすゞ氏の3つの詩を取り上げ、『「どうしてできない？知らないの？」と相手に口にせず、目に見えない肝心な所に目を向け、相手に優しく話しかけること』を心掛けてほしいです。そして、『挨拶をはじめとした人権を意識する言動を大切にし、良好な人間関係を築くこと』で、人生をより豊かにしてほしいです。』と、校長先生から講話がありました。その後、全学級で人権に関する授業を実施し、互いに相手を思いやる意識を高揚させる良い機会となりました。

職業体験学習

2年生は、11月29日(水)～12月1日(金)の日程で、本校周辺地域の28件の事業所のご協力の下、職業体験学習を実施しました。4年ぶりかつ以前より1日増やした3日間での実施ということで、期待と不安に胸を膨らませながら、1学期から事前学習を重ねてきました。まず、進路コンパスを利用した学習で自らの適性をつかみ、職業学習やインタビュー活動で仕事や働く意義を知りました。次に、マナー学習で、実社会で大人と円滑に関わるための言葉遣いや受け答えなどを繰り返し練習し、当日を迎えるにあたり事前に挨拶に伺うことで、目的意識を高めました。

当日、体験学習後に学校へ報告に来る様子を見ると、疲れきった表情をしている生徒も見られました。3日間の体験でしたが、働く「大変さ」を実感し、保護者の方に対する「感謝の気持ち」を強くしたようです。それだけでなく、働く「やりがい」も教えていただき、大変充実した学びの機会となりました。



今後も、実社会につながったりプロや本物に触れたりする学習と、日常の学習を関連付けていくことで、生徒一人一人のキャリア形成を図っていくことに努めてまいります。今回の体験学習にご協力いただきました事業所の方、地域の方、保護者の方々に感謝申し上げます。